

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる 対象者	事業評価													備考					
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	事業 実施 評価 の	ABCD評価			今後の展開・改善点等						
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員が事業所を訪問し、経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善をはかり、健全な企業を育成するとともに、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数206社 ・巡回窓口指導延件数 676件 ・課題解決提案件数 20件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 104.0 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)				総合評価	A	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営課題に対して的確に対応して業務向上に繋げるために、課題解決提案件数を引き続き目標に掲げる。
				目標 数値	650	実績 数値	676	目標 数値	20	実績 数値	20	目標達成度				必要性		実施方法①	実施方法②			
												A				A				現行どおり	現行どおり	
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導延日数 353日 ・指導延回数 780回 ・対象事業所数 64件	小規模事業者	指標	対象事業所数 (達成度 103.2 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	経理の自計化と適正な税務申告に結び付けるとともに、現状の指導対象者数を維持する。	
				目標 数値	62	実績 数値	64	目標 数値		実績 数値					目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
															A		A			現行どおり		
講習会	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙をはかり、資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。経営革新セミナーを開催し、経営革新計画承認を目指すことを目的とする。	講習会開催回数及び参加人数 集団講習会 1回 6人 (うち、経営革新 1回 6人) 個別講習会 15回 276人 合計16回 282人	小規模事業者	指標	集団講習会参加人数 (達成度 60.0 %)			指標	個別講習会参加人数 (達成度 86.3 %)			総合評価	B	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	集団講習会では経営革新セミナーを実施し、計画承認を目指す。また個別講習会では税務を中心とした講習会を実施する。	
				目標 数値	10	実績 数値	6	目標 数値	320	実績 数値	276				目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
															C		A			現行どおり		現行どおり
若手後継者等育成事業	若手後継者が人々の行動や考え方を広く理解し、個々の経営資質向上に取り組むことを支援する。本事業は、参加者のスキルアップと顧客ニーズへの柔軟な対応力育成、参加者同士の情報交換による経営ノウハウ共有を目的とする。また、地域に活力を生み出す担い手として、青年部・女性部の活動をPRし、部員の加入増強を図る。	＜研修事業の実施＞ 参加人数:13人 実施対象:商工会員及び地区内の若手後継者等 実施日:2025年2月7日 満足度調査アンケート5段階評価のうち4「良い」以上の割合:100% ＜青年部全国大会への参加＞ 開催日:2024年11月27～28日 参加数:3人 ＜中部ブロック大会への参加＞ 開催日:2024年8月22日 参加数:3人	小規模事業者等	指標	研修事業の参加者数 (達成度 130.0 %)			指標	満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 125.0 %)			総合評価	A	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も個々の資質向上を目的とした研修を通じて部員相互のスキルアップを図る。また、全国大会へ参加することで若手後継者としての意識を高める。	
				目標 数値	10	実績 数値	13	目標 数値	80	実績 数値	100				目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
																	A					
祭典	各種のお祭り・祭典などの開催と積極的な参画により、地域の経済活動を促進するとともに、地域の総合的な振興をはかることを目的とする。地域イベントと連携した売り出し等を行い、集客力アップを目指す。	＜さくらまつり＞ 時期:4月 出店者数:12店舗 来場者数:7,450人 ＜ふじまつり＞ 時期:4月20日～5月5日 出店者数:18店舗 来場者数:29,867人 ＜ふじおかおいでん夏まつり＞ 時期:年7月13日 出店者数:5店舗 来場者数:4,000人 ＜ふじおか紅葉まつり＞ 時期:11月22日～24日 出店者数:21店舗 来場者数:49,550人	小規模事業者等	指標	出店者数 (達成度 186.7 %)			指標	各まつり来場者数 (達成度 193.3 %)			総合評価	A	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	イベントの来場者数が増加傾向にあるため、「出店車数」「来場者数」ともに目標を上げる。	
				目標 数値	30	実績 数値	56	目標 数値	47,000	実績 数値	90,867				目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
																	A					
商店街・街づくり事業	藤岡地区は、「ふじ」が有名な地域であり、その魅力を活かした地域活性化と商店集客を目的として、当会では毎月22日を「ふじの日」と制定した。「ふじのまちふじおか」という地域ブランドを共有し、地域商業者共通の認識のもと、地域商店への集客を図る。	以下の取り組みに対する参画事業者数 ・地域商店で毎月22日(ふじの日)共通セール開催 ・毎月22日「ふじいろ」の共通ユニフォームの着用	小規模事業者等	指標	参画事業者数 (達成度 90.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	地域活性化と商店集客につなげるようイベントの開催や共通ユニホームの着用の参画事業者数を継続して実施する。	
				目標 数値	10	実績 数値	9	目標 数値		実績 数値					目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
															B		A			現行どおり		
雇用促進事業	就労者の確保・育成・定着促進をはかるため、就労の場の拡大や商工業等における意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	優良従業員被表彰者数4人(優秀技能者・創意工夫功労者を含む) 優秀企業被表彰数2事業所	小規模事業者等	指標	優良従業員被表彰者数 (達成度 40.0 %)			指標	優秀企業被表彰数 (達成度 100.0 %)			総合評価	B	事業 実施 評価 の	自己評価	事業者 への 調査 結果	満足度	補足	目標①	目標②	企業・従業員のステップアップするためのきっかり作りの一環として継続して実施する。	
				目標 数値	10	実績 数値	4	目標 数値	2	実績 数値	2				目標達成度		必要性	実施方法①	実施方法②			
															C		A			現行どおり		現行どおり

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価											
青年部・女性部事業	商工業に携わる青年部、女性部にに対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上をはかるための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。両部とも組織強化のため部員の加入増強をはかる。	青年部員数16人 女性部員数31人 小規模企業の振興・発展につながる講習会・研修会の開催	小規模事業者等	指標	青年部員数 (達成度 80.0 %)			指標	女性部員数 (達成度 93.9 %)			青年部、女性部ともに目標を達成することができなかった。部員数の減少は今後の部会活動に大きな影響を及ぼすため、加入促進により一層注力する必要がある。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	組織強化につなげるために加入増強に取り組む。未加入者へ青年部・女性部活動をPRし加入の推進を行う。
				C	必要性	A	下げる	現行どおり															
				目標達成度	B	A	現行どおり	現行どおり															
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定をはかるために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済356口、火災共済28口、小規模企業共済85口、倒産防止共済13口、特退共26口中退共73口、業務災害5口、ビジネス総合3口 合計589口 健康診断受診者数131人	小規模事業者等	指標	各種共済加入者数 (達成度 96.6 %)			指標	健康診断受診者数 (達成度 87.3 %)			目標には届かなかったが中小企業共済のみ共済をはじめ、従業員の福利厚生に役立つ共済の加入推進を行い、事業者の安定的な発展を図ることができた。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	加入推進を積極的にを行い、事業者や従業員の福利厚生に寄与する。
				C	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	B	A	現行どおり	現行どおり															
労働保険事業	労働保険料の申告納付や各種届出等の事務手続き代行により、事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進と適正な徴収をはかる。	委託事業所数44事業所	小規模事業者等	指標	委託事業所数 (達成度 97.8 %)			指標	(達成度 %)			目標数値を達成することができなかった。労働保険に関する事務手続きなどを代行できるメリットを全面に打ち出し、委託事業所数の加入促進に注力する必要がある。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険に関する知識を深めてもらいながら、引き続き未加入事業者の解消に努める。
				C	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	B	A	現行どおり	現行どおり															
税務関係団体指導事業	青色申告会・間税会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	税務指導の拡充による確定申告支援等、小規模事業者等の自計化をはかる 確定申告書の受付件数152件	小規模事業者等	指標	確定申告受付件数 (達成度 116.9 %)			指標	(達成度 %)			青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勧奨を行い、確定申告の受付件数の増加をはかることで小規模事業者等の税務の知識を高めることができた。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勧奨を行い、確定申告の受付件数増加を目標とする。
				B	必要性	A	上げる																
				目標達成度	A	A	現行どおり																
部会・委員会事業	各部会事業は商工会の根幹をなす組織の一つであり、その大半は小規模事業者である。これら部会事業を積極的に行うことは、小規模事業者の経営改善に直接繋がるものである。	商業部会開催回数10回 工業部会開催回数5回 合計15回	小規模事業者等	指標	商業部会開催回数 (達成度 166.7 %)			指標	工業部会開催回数 (達成度 83.3 %)			商業部会を中心に地域活性化を図るための部会を開催した。街路灯のタペストリーの設置、ふじの日の幟を作成し、ふじの日のPRを行った。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	商業部会を中心に地域内の魅力ある商品を産出し、ブランド化を目指していく。
				B	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	A	A	現行どおり	現行どおり															
専門家派遣課題解決事業	小規模事業者の高度な相談内容に対して、解決のために経営に関する専門家を事業所へ派遣して、技術や知識提供を支援することを目的とする。	専門家派遣件数14回	小規模事業者等	指標	専門家派遣件数 (達成度 233.3 %)			指標	(達成度 %)			専門家派遣を利用した事業者が事業計画書を策定し、高い確率で補助金の申請、採択を受けることができた。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	課題解決の一助として活用してもらい、高度な相談に対しても解決をはかる。
				A	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	A	A	現行どおり	現行どおり															
展示会・商談会支援事業	豊田市内の1商工会議所・6商工会が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売をする上の特産品展をはじめ、会員事業所の出展または商談機会を創出する。その他にも近隣ビジネスフェアへの参加支援やアンテナショップ等への出展支援を行い、新たな需要の開拓に寄与する。	〈物産展等出展〉 ・よたの特産品 ・あいちまるっと！マルシェ ・小牧基地オープンペース 他 出展事業者：10事業所 〈アンテナショップ出展〉 ・まるっと！あいち ・愛・地球博ロタンダ風ヶ丘 出展事業者：3事業所	小規模事業者等	指標	展示会出展企業数 (達成度 130.0 %)			指標	(達成度 %)			本事業を通じて商品の陳列方法や販売促進のノウハウを習得することができた。また商品開発事業に取組み一定の成果を得ることができた。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	消費喚起として様々なイベントや展示会の開催が期待できる。多くの事業者の販路開拓を支援するため引き続き実施する。
				B	必要性	A	現行どおり																
				目標達成度	A	A	現行どおり																
事業計画策定支援事業	小規模事業者の経営理念確立、強み・弱み理解、課題解決に向けた事業計画策定を支援。創業者には経営相談窓口を開設し創業計画策定を支援、事業計画策定予定者にはDXIに関する相談会等を実施する。	〈事業計画策定相談〉 実施時期：通年 実施対象：地区内小規模事業者等 参加人数：7人 〈創業計画策定相談〉 実施時期：通年 実施対象：地区内の創業予定者及び創業者、第2創業者等 参加人数：5人	小規模事業者等	指標	事業計画策定数 (達成度 140.0 %)			指標	創業計画策定数 (達成度 166.7 %)			事業計画、創業計画の策定支援を行うことにより経営計画に沿った補助金の申請に取り組む事業者が多くあった。また、デジタル化に対応するためAIツールの知識や活用を推進することで業務の効率化や生産性の向上が期待できる。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	事業計画、創業計画の策定支援を行う。今年度も経営計画に沿った補助金の申請に取り組み、創業支援についても継続して創業支援施策を検討する。
				B	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	A	A	現行どおり	現行どおり															
調査・広報事業	小規模事業者の経営状況を把握するため経済動向調査を実施する。また小規模事業者への施策、制度を周知するためホームページ等を活用し情報提供を実施する。	経済動向調査の実施 50事業所 ホームページ、公式LINEによる情報発信	小規模事業者等	指標	調査事業所数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			経営動向調査を実施することで地区内小規模事業者の経済動向を把握することができた。調査結果をホームページ等に掲載することで地区内の経済動向についての情報提供を行えた。		総合評価	A	事業実施評価の割合	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	地区内の事業者の経営動向調査を上げるためにヒアリング項目の見直しやヒアリング方法を検討する。
				B	必要性	A	現行どおり	現行どおり															
				目標達成度	A	A	現行どおり																

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。

※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。

※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。